

大学院経営情報 イノベーション研究科

研究科案内

経営情報 イノベーション研究科

研究科案内

静岡県立大学法人 〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1
静岡県立大学 TEL 054-264-5102(代表)
 UNIVERSITY OF SHIZUOKA 054-264-5007(入試室)

<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp> (全学)
<https://mi.u-shizuoka-ken.ac.jp> (学部・研究科)



■ ご案内(大学所在地・交通)



静岡までのアクセス(いずれも「新幹線〇かり号」を使用した場合)

- 東京から : 東京 → 静岡 約1時間
- 大阪から : 新大阪 → 静岡 約2時間
- 名古屋から : 名古屋 → 静岡 約1時間



最寄り駅からのアクセス

- 徒歩の場合 : JR「草雉」駅、または静岡鉄道「県立美術館前」駅、同「草雉」駅から 徒歩15分
- バスの場合 : JR「草雉」駅前より、しずてつジャストライン 草雉団地行き(三保草雉線)で、「県立大学入口」下車 約5分
 *平日の午前のみ、「県立大学前」下車が可能 下車0分



経営、公共政策、情報、観光を柱に イノベーションの担い手、 高度な専門的人材の育成を目指す



教育、研究、地域貢献を行うための「知の創造を担う拠点」の確立

現在、新たに台頭しつつある社会変革へのニーズに応えるべく、静岡という地場の状況を熟知した地域の総合的な戦略を構築し、イノベーションを現実化する人材を養成する拠点が求められています。本研究科はそうした拠点として、静岡県の地域特性およびその立地の状況を活かして、地域の皆さんとともに地域に立脚し、知の創造とその活用により地域社会に貢献できる人材を育成します。

Message

高い専門性を有し、 「思考のダイバーシティ」を実践できる人材を育みます

イノベーションが経済の発展をもたらすこと、人類の進歩において最も貢献している要因だと言っても過言ではありません。しかし85%の新しいアイデアは開花せず、研究開発を行っても、その60%は市場に出たあとに失敗してしまいます。これはイノベーションにおける経営力が足りないからなのです。テクノロジーの知識不足がイノベーションの失敗につながることはまれなことです。

これからの日本は、過度な内部成長重視型の殻を打ち破り、革新的で新しい価値を創出するオープン・イノベーションが欠かせません。海外に目を向けると、米中によるヘゲモニー争いによって地政学的リスクが一気に高まり、欧州では民族と宗教と文化が複雑に絡み合った「文明の衝突」が現実のものとなりつつあります。このように不確定要素が増大している環境下におい

て、多様性を容認し、許容度を高め、「思考のダイバーシティ」を実践する必要性が高まってきているのではないのでしょうか？ また、AIなど、技術の進歩により、さらなる専門性が個人に求められる時代が到来しています。

本研究科の博士前期課程においては、各人が専門性に長けた人材となるよう、イノベーションを喚起するプロフェッショナルの育成に力を入れています。博士後期課程においてはあらゆる領域においてイノベーションの実現とその基礎を担う人材の育成を目指しています。成熟した概念から脱却し、イノベーションに必要な不可欠なダイナミックな概念を備えていただくため、多様なカリキュラムを提供しています。遠隔地にはオンラインで対応し、社会人による積極的な参加を勧奨するために講義の半数以上は夜間にて行われ、土曜日も開講しています。

経営情報
イノベーション研究科長
竹下 誠二郎



プロフィール

獨協大学外国語学部卒(1985)、岡三経済研究所入所後、米国留学を経て、ドイツ銀行、オランダ銀行、みずほインターナショナルなど、ロンドンの金融街にて24年間勤務。2015年より静岡県立大学経営情報学部教授(2017~21学部長)、経営情報イノベーション研究科教授(2023~研究科長)。比較バナナスを中心とした国際比較・経営を主に研究している。BBCやCNNなどをはじめとした海外メディア出演回数は2,500回超。ノースウエスタン大学ケロッグ経営大学院MBA(1989)、ロンドン大学Ph.D.(経営学、2007)。



イノベーションを喚起する新たな プロフェッショナルの育成(博士前期課程)

あらゆる領域において一人ひとりがプロフェッショナルとしての知識とスキルを求められる昨今、組織や地域社会の中でイノベーションを具体的なかつ実践的に担う第一線で活躍する専門的職業人の育成を目指します。



あらゆる領域においてイノベーションの実現と その基盤を担う人材の養成(博士後期課程)

急速な少子高齢化の進行、経済のグローバル化に伴う競争の激化などにより、ローカル/グローバルなレベルにおいてこれまでとは異なる新たな発想で道を切り開く方策への期待が高まっています。そこで本研究科は、経営、公共政策、情報、観光の研究教育の支柱をより強固に取りまとめ、社会における様々な課題解決につながるイノベーションを推し進めることのできる人材を、高度かつ実践的な研究教育を通して養成します。



博士前期課程、博士後期課程ともに イノベーションを軸にしたカリキュラム体系

博士前期課程、博士後期課程ともにそのコアに「イノベーション」関連科目を配置し、イノベーションに関する知識とスキルの獲得を目指します。

【博士前期課程】「イノベーション原理特論」「ソーシャル・イノベーション特論」「知的情報イノベーション特論」「観光マネジメント特論」

【博士後期課程】「イノベーション論特殊講義」「経営事業創造特殊講義」「ソーシャル・イノベーション特殊講義」「地域マネジメント特殊講義」「知的情報システム特殊講義」「知的情報基盤特殊講義」



遠隔地(オンラインでも開講)でも、 働きながら(夜間・土曜日も開講)でも学べる大学院、長期履修制度あり

本研究科のすべての講義は午後2時40分以降に始まり、半数以上の講義は夜間(午後6時30分以降)に開講されます。また、土曜日の午前・午後が開講される授業、オンラインで開講される授業、長期履修制度もあります。これにより、社会人が勤務を続けながら学位を取得することができます。この制度を利用して、現在では多数の社会人大学院生が在学しています。

研究センター紹介

■ 地域経営研究センター

地域経営研究センターでは、経営・公共政策・情報・観光に関わる大学院経営情報イノベーション研究科の知的資源を組織化・体系化し、地域社会のニーズに適合した社会人学習プログラムの開発と提供を行います。また、地域経営に関連するテーマの研究活動を行い、地域に関する諸問題を解決するための提言を行うことを志向します。



■ 政策研究センター

政策研究センターは、2024年4月に新設されました。本センターは、本大学院の「公共政策」、「経営」、「データサイエンス」又は「観光」の各分野における政策に関する知見や、他の研究センターにおける研究と融合させつつ、政策に関する研究を行い、その成果を本大学院の内外に発信し、静岡県の発展に寄与することを目的としています。

■ ICTイノベーション研究センター

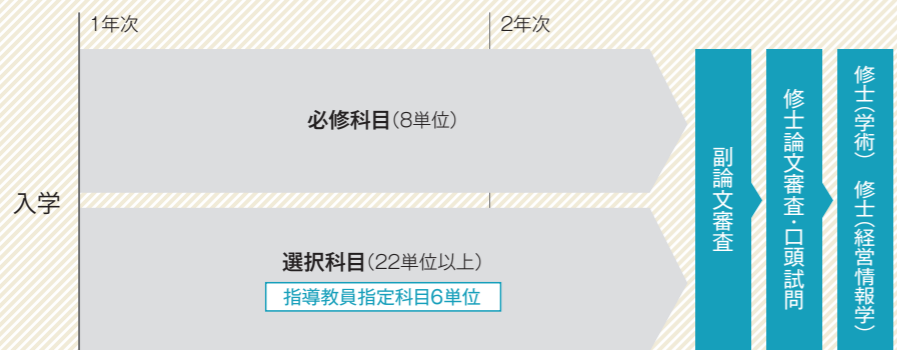
情報・数理・経営・公共政策・観光分野を連携・融合させた学際的研究を推進するため、情報通信技術(ICT:Information and Communication Technology)分野におけるイノベティブな研究および社会のイノベーションの基盤となるICT技術の研究に取り組み、研究成果の社会展開を通じて静岡県を始めとした地域の発展に貢献します。

■ ツーリズム研究センター

ツーリズム研究センターでは、静岡県観光に関する調査・研究のほか、各市町と連携した地域活性化活動、高校の先生方に対する観光教育の紹介、県内中学校・高等学校向けの観光講座の実施等を行っています。こうした取組みを通じて、静岡県の観光振興、観光マネジメントを担う人材の育成に努めるとともに、若年層の地域に対する愛着向上を促すことに努めています。

博士前期課程

入学から修士号取得まで 標準修業年限2年(最長4年) / 長期履修制度あり



CHECK A 高等学校教諭専修免許の取得

本研究科では、高等学校教諭専修免許「商業」及び「情報」の取得が可能です。高等学校教諭一種免許をすでに持っている方なら、本研究科開講科目の内、教職指定科目をそれぞれ24単位以上修得することにより専修免許が取得できます。

CHECK B 修了要件

- ①必修科目8単位、選択科目から指導教員が指定する指定科目6単位、選択科目からその他16単位を併せて計30単位以上を修得すること。
- ②必要な研究指導を受けた上で、副論文審査の合格を経て、修士論文の審査および口頭試問に合格すること。

CHECK C 単位互換

(単位互換科目1)
静岡大学大学院人文社会科学研究科が単位互換により提供する科目を、8単位を上限として修了単位に参入できます。ただし、下記の「他研究科科目」とあわせて10単位を上限とします。

(単位互換科目2)
指導教員及び科目担当教員の許可により、本学の他研究科の科目を10単位を上限として、修了単位に参入できます。ただし、上記の「単位互換科目」とあわせて10単位を上限とします。

授業科目の一覧

	必修科目 (すべて2単位)	選択科目(すべて2単位)			
		経営分野	公共政策分野	情報分野	観光分野
1 年 次	特別研究I 特別研究II	アグリビジネス特論 イノベーション原理特論 企業評価特論 コーポレートファイナンス特論 国際経営特論 社会科学研究方法特論 新規事業創造特論 ソーシャル・ビジネス特論 多国籍企業特論 ファミリービジネス特論 マーケティング特論 マネジメントコントロール特論 流通イノベーション特論 経営戦略特論 経営組織論特論 国際比較経営特論 財務会計特論 行動科学研究法特論 人的資源管理特論 法人税法特論 消費者行動論特論	ソーシャル・イノベーション特論 サードセクター特論 都市政策特論 医療介護イノベーション特論 地域マネジメント特論 地域イノベーション特論 経済政策特論 イノベーションの経済分析特論 ミクロ経済学特論 国際経済学特論 地方自治特論 保健医療システム特論 ソーシャル・インクルージョン特論 社会保障ネットワーク特論 財政・租税特論 地域福祉マネジメント特論 ヘルスケア情報処理特論 社会システム分析特論 現代金融特論	ITビジネス特論 ITマネジメント特論 計算機援用工学特論 シミュレーション特論 情報技術特論 情報セキュリティ特論 情報メディア工学特論 数理情報特論 ソフトウェア工学特論 知的情報イノベーション特論 データ工学特論 ナレッジ工学特論 ネットワークコミュニケーション特論 ヒューマンコンピュータインタラクション特論 経営情報数学特論 経営数学特論 情報教育特論	レベニューマネジメント特論 観光政策特論 観光情報分析特論 観光産業特論 地域観光特論 地方創生特論 観光調査特論 観光まちづくり特論
	特別研究III 特別研究IV				
2 年 次					

(2024年度入学生実績)

Voice 先輩達のリアルな声を聞いてみよう!

多角的な視点を学ぶ機会を得ることで
選択肢を広げられるきっかけになる



昨今生成AIがめざましい発展を遂げています。私は修士課程で、機械学習を用いて自然言語のデータを分析・分類を目的とした研究を行っており、AIの基礎となる部分やその活用に関する研究に取り組んでいます。修士課程修了後は、ITインフラに関わる企業にエンジニアとして就職し、スマートフォン向けアプリケーションのバックエンドサーバーの開発・運用を行なっています。一見学んだことは大きく関係がないように思われますが、業務でも生成AIに関するサービスをリリースしており、それらを検討する際には修士課程で得た知識・知見を活かすことができました。今後AIがさらなる発展を遂げていくと考えられる社会の中で、そうしたものをより効果的に活用していく上では、ITに関する知識だけではなく経営的な観点など多角的な視点が求められます。進学し、多角的な視点を学ぶ機会を得ることで選択肢を広げられるきっかけになると考えます。

博士後期課程

入学から博士号取得まで 標準修業年限3年(最長6年) / 長期履修制度あり



CHECK A 修了要件

- ①本博士後期課程に3年以上在学し、必修科目14単位、選択科目から4単位の併せて計18単位以上を修得すること。
- ②必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査および最終試験に合格すること。

授業科目の一覧

	必修科目	選択科目	
		特殊講義科目 (すべて1単位)	特殊演習科目(すべて2単位)
1 年 次	研究指導I (4単位) 特殊演習I (2単位)		
2 年 次	研究指導II (4単位)	イノベーション論特殊講義 ソーシャル・イノベーション特殊講義 地域マネジメント特殊講義 知的情報システム特殊講義 知的情報基盤特殊講義 経営事業創造特殊講義	特殊演習II
3 年 次	研究指導III (4単位)		

(2024年度入学生実績)

これからの時代に必要な
学びの機会を提供してくれました



私は、行政の専門職として長らく働いていましたが、社会に出て気づいたその必要性から、大学院ではマーケティングを学び、その健康づくりへの展開について研究しました。院では、固定観念でコチコチに硬くなった思考をほぐすように、迷って、調べて、考えて、そして多様な領域の先生方や、経験も領域も異なる院の先輩や同級生の仲間たちとも話し合う貴重な経験を得ました。社会人人生は、何よりも時間と体調の管理がタイヘンです。でも、ふりかえってみれば、統計を始めとする分析能力も、様々な書籍を読みこむ力も、自分と違う価値観のヒトを観る視点も、ここに来なければ、こんなには得られなかったかもしれません。現在、大学で教員をしていますが、この研究科の持つ学問の専門領域を超えた、多様さに寛容な雰囲気は、これからの時代にとても大事な学びの機会を提供してくれました。

教員紹介

日々議論し合い、教育と研究にチームワークを発揮する



講師
天野 政紀
Amano Masanori



教授
岩崎 邦彦
Iwasaki Kunihiko



教授
大久保 あかね
Okubo Akane



助教
小田 紘久
Oda Hirohisa



講師
天野 ゆかり
Amano Yukari



教授
上野 雄史
Ueno Takefumi



准教授
大久保 誠也
Okubo Seiya



講師
笠原 民子
Kasahara Tamiko



准教授
カクルアムアン・アムナイ
Khaokruemuang Amnaj



准教授
上原 克仁
Uehara Katsuhito



講師
沖本 まどか
Okimoto Madoka



教授
岸 昭雄
Kishi Akio



講師
井本 智明
Imoto Tomoaki



教授
内海 佐和子
Utsumi Sawako



教授
落合 康裕
Ochiai Yasuhiro



准教授
木村 綾
Kimura Aya



准教授
国保 祥子
Kokubo Akiko



准教授
玉利 祐樹
Tamari Yuki



教授
藤本 健太郎
Fujimoto Kentaro



教授
湯瀬 裕昭
Yuze Hiroaki



教授
小西 敦
Konishi Atsushi



講師
寺崎 竜雄
Terasaki Tatsuo



講師
松岡 清志
Matsuoka Kiyoshi



教授
六井 淳
Rokui Jun



助教
相良 陸成
Sagara Rikunari



助教
野口 理子
Noguchi Riko



教授
武藤 伸明
Mutoh Nobuaki



教授
渡邊 貴之
Watanabe Takayuki



教授
竹下 誠二郎
Takeshita Seijiro



教授
東野 定律
Higashino Sadanori



准教授
森 勇治
Mori Yuji

科目等履修生の情報

大学院進学の前準備として、大学院における指導教員や研究テーマ選びは難しいものですが、科目等履修生はそのハードルをうまく越える方法です。また科目等履修生で履修した単位は入学後の単位に認定されることから、多忙な社会人には特に有益です。



博士前期課程、博士後期課程の研究指導教員の詳細については研究科入試情報に関するWebページ (<https://mi.u-shizuoka-ken.ac.jp/cont/exam/grad-mii/>) を参照して下さい。